

和の光



宝塚市立西谷中学校

スマホ・携帯から人との繋がりについて考える

校長 筒井 啓介

西谷中生の皆さんもスマートフォンや携帯電話を使っている人が多いのではないのでしょうか。私もスマートフォンを使っています。その所持目的はいろいろあると思います。例えば、昔と比べると街の中に公衆電話が少なくなったり、登下校時の安全確認のためだったり、様々だと思います。

私も自分の子どもが小学生の頃、妻から「子どもの登下校が心配だし、習い事の送迎で必要だからキッズ携帯を持たせたい」と言われました。それを聞いて、小学生に携帯電話は必要ないのではと思いましたが、しばらく様子を見守ることにしました。子どもたちの様子を見てみると、妻と子どもたちで決めた約束を守りながら使っていたようです。子どもたちが中学生になった頃、スマートフォンが普及しはじめ、娘がスマートフォンを欲しがった(SNSで友人と連絡がとれるので)ようですが、妻と話し合っただけでキッズ携帯を使い続けることになりました。そして、娘が高校生になった時に、息子と合わせてスマートフォンを買い与えることになりました。時の流れは早いもので、特にスマートフォンや携帯電話でのトラブルはなく、娘は大学4年生、息子は2年生になりました。今から振り返れば、私が口を挟まず妻と子どもたちで決めたルールを守ることを信じ、見守る立場にいて良かったかなと思います。

さて、ここで新聞の読者の欄に投稿されていた投書「いまどき携帯持たない理由」を紹介します。古い投書ですが、考えさせられることがありますので、みなさんも是非読んでください。

「いまどき携帯持たない理由」

「僕は、もうすぐ大学4年生になる。3年ほど大学生をやってきたのだが、僕はこれまでケータイ(携帯電話)を持たない。「何で持たないの」「今どき珍しいね」という周囲の反応にも慣れてしまった。ケータイが欲しいと思ったことはある。持てば便利だと思う。でも、みんながケータイを持つ理由は、便利さだけなのかな。本当はみんな孤独が嫌なんじゃないのかな。ケータイをポケットに入れておくことで、人肌を携帯していたいんじゃないのかな。ケータイを持つ人が、全てそうだとは思わない。でも、少なくとも僕がケータイを欲しいと思った理由はそこにあった。孤独を感じる時の心の隙間をだれかと「つながっている」と思うことで埋めたいと思った。人間は生きていくうえで、ひとりで考え、自分の足で歩いていかなきゃいけない時があると思う。

安易な「つながり」で、その場をごまかしちゃいけない時があると思う。僕は孤独に押しつぶされない強さが欲しい。僕がケータイを持たない理由は、まだまだ僕が弱い人間だからだ。

大学生 清水 将吾

(東京都北区21歳)

朝日新聞 平成12年2月18日朝刊

読者の欄「声」より抜粋

みなさんは、この大学生の記事を読んでどのように感じましたか。私自身はスマートフォンや携帯電話の使用を否定するつもりは全くありません。私たち大人が子どもだった頃と比べると社会環境や子どもを取り巻く環境は大きく変わりました。そのことを理解することも必要だと思います。しかし、「常に何かで仲間と繋がっていなければ安心できない現代の若者の弱さを感じ、本当にこんな程度の人間関係でいいのかな」と思っていました。そんな時に、この投稿を読んで、安易な「つながり」で、その場をごまかしてはいけなく、**うわべだけではなく、もっと人間的な意味でのつながりが必要だという彼の言葉に大きな感銘を受けました。**

みなさんも、**ぜひこの機会に人との(クラスの友人など)真のつながりについて考えてもらいたいと思います。**



■職員室前の廊下での出来事

4月19日(金)の放課後、ちょうど部活動が終わった頃、私が校内の戸締りで職員室前の廊下を歩いていると、テニス部と吹奏楽部の女子生徒2名がいました。私の姿が見えると、「校長先生、バスが来るまで職員室前の廊下で待ってもいいですか」と尋ねられました。「どうぞ」と答えたら、二人は鞆から問題集を取り出して、一人は漢字の宿題、もう一人は数学の自主学習を始めました。勉強をしながら少し話をするので、家まで歩けば小一時間かかるので幼稚園の頃からバス通学をしているとのこと。部活は楽しくやっていた、後輩が1名入部をしてくれることが決まってとても嬉しそうでした。バスが来るまで30分ほどの時間でしたが、二人は廊下に置かれた長机で熱心に勉強をしていました。今日だけではなく、バス待ちの時間をうまく活用して、勉強時間にあてているようです。二人の姿を見てみると、とても微笑ましく思いました。これからも、**元気よく部活に取り組み、バス待ちの隙間時間をうまく使ってくださることを期待しています。**

■授業参観・学級懇談会が行われます

新しい学年がスタートし、2週間が過ぎました。2・3年生は先輩としての自覚を持って、学校生活や生徒会活動、部活動などで後輩をリードしてくれています。また、1年生は少しずつ学校生活にも慣れてきたようで、たくさんの笑顔を見ることが出来ます。さて、既にお知らせしていますが、4月26日(金)に授業参観と学級懇談会を行いますので、子どもたちの様子をご覧いただき、頑張る姿に励ましの声をかけていただくと嬉しく思います。詳細は配布したお知らせプリント(スクリーンにも配信済み)にてご確認ください。

①授業参観:14時00分~14時50分 ⇒1年生(英語)、2年生(社会)、3年生(国語)

②学級懇談:15時00分~15時20分

※授業参観、学級懇談とも各学級の教室で行います。

■仲間と共に学ぶ楽しさ

4月下旬になり、授業も本格的に進み始めました。何事も最初が肝心です。しっかりと授業に臨み、分からないところはそのままにせず必ず先生や友達に尋ねるようにしてください。それから、**宿題は当然ですが、学校で習ったことは必ず家で復習するようにしましょう。日々の小さな努力の積み重ねが、3年後に大きな力となって実感できるはず。努力した分、進路選択時に選択肢が増えるはず。**

さて、今年もできる限り子どもたちの授業の様子を保護者の皆様にお伝えできるようにしたいと思います。子どもたちの生き生きとした様子が伝われば嬉しく思います。今回は、1年生の国語、2年生の社会を紹介します。(4月16日(火曜日))



★国語の授業では、谷川俊太郎の詩「朝のリレー」を学習していました。詩の中の一語一語に込められた思いを読み取りながら授業が進んでいました。また、タブレットPCでカムチャッカ半島、ローマ、メキシコについても確認していました。

★社会では、地図の学習をしていました。等高線の意味を分かりやすく説明するために、プリントと大型テレビを使って解説していました。また、分からないことを教え合う姿も見られました。

1年生 国語の授業



2年生 社会の授業